

創立 1980 年 10 月 8 日



ROTARY CLUB OF SAKAI NORTH

第 2640 地区 堺北ロータリークラブ週報

事務所 〒590-0940 堺市堺区車之町西 2 丁 1 番 30 号 ポピア南海 3 階 302 号

Tel (072) 223-2300 番 Fax (072) 223-5005 番

URL : <https://www.sakai-kita.jp/>E-mail : snrc@jasmine.ocn.ne.jp

例会日 毎週金曜日 午後 0 時 30 分

例会場 南海グリラ 天兆閣別館 4 階「ローズ」 Tel: (072) 222-0131 番 (代表)

ガバナー(第 2640 地区) : 森本芳宣

ガバナー事務所 URL : <http://rid2640g.com/morimoto/>E-mail : morimoto@rid2640g.com

会長: 塩見 守 幹事: 澤井久和 広報委員長: 池田茂雄 編集者: 坂田兼則



四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日の例会

2022 年 7 月 15 日(金)第 1957 回

卓 話 「自転車産業の街から、
自転車が利用しやすい街に」

卓話者 堺自転車のまちづくり市民会

代表 中村 博司 様

紹介者 笹山 悦夫 会員

今週の歌 「日も風も星も」「堺北 RC の歌」
「われは海の子」

お客様の紹介

出席報告・会員総会・会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA 報告

今週の歌「われは海の子」

我は海の子 白波の
さわぐいそべの 松原に
煙たなびく とまよこそ
我がなつかしき 住家なれ



前回の例会

2022 年 7 月 8 日(金)第 1956 回

「第 1 回クラブアッセンブリー」

各委員会委員長

今週の歌 「我らの生業」「夏は来ぬ」

お客様の紹介 ガバナー補佐 丸山 孝明 様

出席報告・会員総会・会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA 報告

○皆出席表彰(7 月度)

綿谷伸一会員(19 回目)

池永隆昭会員(6 回目)

永富久紀会員(1 回目)

畑中一辰会員(1 回目)

◇米山功労者表彰

濱口正義会員…第 91 回メジャードナー

米澤邦明会員…第 7 回マルチプル

◇地区委員委嘱状伝達式

米山寄付増進小委員会 委員 米澤邦明会員

<7 月 8 日(金)の出席報告>

会 員 数	29 名
出席会員	19 名
欠席会員	10 名
ゲスト	1 名
ビジター	1 名

次回の例会

2022 年 7 月 23 日(土)第 1958 回

「ビア・パーティー」

18:00~ (受付 17:30~)

於: 大阪 Marriott 都ホテル 19 階「クーカ」

*7 月 22 日(金)の例会は上記に変更いたします

イマジン
ロータリー

2022-23 年度 国際ロータリーのテーマ

「イマジン ロータリー」

国際ロータリー会長 ジェニファー E・ジョーンズ (カナダ・ウインザー・ローズランド RC)

第1回クラブアッセンブリー

会員増強委員会

委員長 嶽盛和三

副委員長 城岡陽志

委員 堀畑・國井・北側・木畑・泉谷・奥野・濱口・永富・田口・笹山



○活動方針

(1) コロナ禍により、この2年間は活発な活動が制限されてきたが、今年度は大いに活動を興し、入会に導くことが出来るよう努めたい。

(2) 昨年度の会員目標数が達成されていないため、今年度も会員総数35名を目標として活動する。

(3) 昨年度同様女性会員の入会にも力を注ぎたい。

○活動計画

(1) 昨年度はコロナ禍により「拡大例会」も縮小を余儀なくされたが、今年度は早めに準備も進め、盛大に開催したい。(2023年4月21日(金)夜間例会に変更し開催予定)

(2) 委員会も年に数回実施し、会員の発掘に努めたい。

(3) 入会候補者の方を通常例会にお誘いをする。

親睦活動委員会

委員長 那須宗弘

副委員長 中田 学

委員 城岡・坂田・泉谷・池永・笹山・畑中平野・北村・吉村・鶴



○活動方針

親睦活動を通じて会員相互の交流と友情を深め、会員各位と家族、ファミリー会員、準会員に参加して頂き、楽しく思いやりのあるクラブ活動にして行く様、努力してまいります。

○活動計画

(1) ビアパーティー 7月23日(土) 18:00～
大阪マリオット都ホテル 19F

(2) 忘年家族会 12月24日(土)
大阪マリオット 都ホテル

(3) 春の一泊親睦家族旅行計画
米山梅吉記念館等見学

(4) 最終例会
6月17日(土)

南海グリン東館3F予定

以上、四五行事の円滑なる実施予定しています。

広報委員会

委員長 池田茂雄

副委員長 坂田兼則

委員 那須・北村・吉村・鶴



○活動方針

(1) ロータリー活動の情報源としては、(1) ロータリーの友事務所で発行される「ロータリーの友」月刊誌、(2) 当クラブで毎週発行の「クラブ週報」、

(3) 当2640地区において発行の「ガバナー月信」など、これらロータリー関係の情報誌などを活用しながら、ロータリーに対する会員からの関心を高め、ロータリーへの理解を深めるべく努めてまいります。

○活動計画

(1) 毎月の「ロータリーの友」誌を例会時に委員が輪番で解説し、ロータリー活動に対する理解を深めてまいります。

(2) 毎週発行の「クラブ週報」で、例会行事やその他の活動状況を詳細に報告し、同時に翌週以降の行事予定も詳細にお知らせします。これにより、ロータリーに対する会員皆さんからの関心が高まるよう努めてまいります。このことが欠席された会員皆さんへの周知にもつながります。

(3) このクラブ週報は、翌週には当クラブホームページ上にアップされます。会員皆さんは必要に応じていつでも、この週報をご覧になれます。このホームページへアップすることが、当クラブの活動記録にもつながり一石二鳥となっております。

ただ、このクラブ週報は、会員しか閲覧できない会員専用ページではなく、広く一般の方々が自由に閲覧できるページへのアップなのです。このため、後日のトラブル防止等のため、週報の原稿を書かれる時には、この点に充分ご注意ください。よう会員皆さまへ特にお願ひしています。

(4) 「ロータリーの友」誌や、「地区ガバナー月信」に当クラブの、これはと思われる活動を積極的に投稿し、当クラブの認知度の向上、そしてイメージアップを目指します。

ホームページ委員会

委員長 坂田兼則

副委員長 池田茂雄

委員 米澤・平野



○活動方針

(1) 堺北ロータリークラブの更なる認知度の向上とイメージアップを目指しながらあらゆる情報の発信に努めて参ります。

(2) ホームページに掲載した各種の活動状況及び記録は、堺北ロータリークラブの歴史であり、又後日のために役立つ有益な資料として、掲載内容に十分配慮し、内容の充実に努めてまいります。

○活動計画

- (1) 当クラブ会員の活動におけ「例会出席」・「ニコニコ箱」の情報を「会員専用ページ」を通じて個人別各種情報として発信し、各自の啓蒙に努めてまいります。
- (2) 一般の皆様には、堺北ロータリークラブの諸活動の理解を深めていただくよう情報発信に努めます。

出席委員会

委員長 鶴 啓之
副委員長 吉村博勝
委員 坂田・辰・池永・笹山



○活動方針

楽しいロータリー活動は、まず以て出席にあり、例会の出席と共に地区大会、各会合、当クラブの活動に出席するようにお願いします。

欠席の場合は、メイクアップをして、各自皆出席を目標に掲げていただく。

○活動計画

- (1) ホームクラブの例会出席を勧める。
- (2) 各委員会との連携を密にして、出席率 100%を目指す。
- (3) 欠席の場合は、必ずメイクアップをお願いします。
- (4) 欠席の多い会員との繋がりを密にして、自然に出席率をアップしていただく。

職業奉仕委員会

委員長 永富久紀
副委員長 田口 隆
委員 泉谷・三上・濱口



○活動方針

「職業奉仕がロータリーの看板である」、「ロータリーの根幹は職業奉仕である」という表現は以前から言われていますが、まさにロータリーのロータリーたる所、以ては職業奉仕の実施にあると思います。

『超我の奉仕（奉仕第一、自己第二）』

これは「最も奉仕する者、最も多く報いられる」実施的な倫理原則に基づくものであり、ロータリーの奉仕の根幹です。

「あなたの喜び私の喜び」、「あなたの幸せ私の幸せ」とも表現されています。

○活動計画

- (1) 職業奉仕と社会奉仕（奉仕の違いについて）
- (2) 職業奉仕の具体的な活動について
- (3) 職業奉仕の理念について

クラブで理解していただき、職業奉仕の実践に役立てていただくこと。

社会奉仕委員会

委員長 平野祥之
副委員長 中田 学
委員 池永・綿谷・泉谷



○活動方針

今年度こそコロナ前の活動を実施できることを期待して・・・

- (1) 地域に根差した社会奉仕活動を実施する。

- (2) クラブ会員、家族、多くの御参加をいただき活気のある奉仕活動を！

○活動計画

- (1) 春・秋の仁徳天皇陵清掃
- (2) 春・秋の交通安全
- (3) 清心寮の子供たちとの交流
(夏合宿・バーベキュー・春場所稽古)
- (4) ガールスカウトさんとの交流（新年会）
- (5) ダメゼット募金活動（毎月第3例会）
- (6) ワークセンターつつじさんのリサイクル活動に賛同し、PCなど小型家電回収に協力

青少年委員会

委員長 北村勝博
副委員長 畑中一辰
委員 泉谷・辰・平野



○活動方針

次世代の若者が将来立派な社会人になって頂く様にセミナーを通じて、共に過ごし、経験し道徳や知見、常識を醸成して頂く活動を致します。またそのような人間形成が将来のロータリアンとなって頂く様、長期の視点で活動を致します。

○活動計画

インターアクト、ローターアクト、米山奨学生等の活動に参加致します。
地区ライラセミナーが開催された際には参加及び協力を致します。今年度のライラは和歌山県立武道館（和歌浦）での開催となります。武道を通じて礼儀作法を若者に伝達することとなります。

（2023年GWの予定）

国際奉仕委員会

委員長 池永隆昭
副委員長 北村勝博

委 員 綿谷・泉谷・嶽盛・畑中



○活動方針

- (1) 友好クラブ等と連携して、国際奉仕プログラムに参加すると共に、友好クラブとの 更なる親善を図る。

○活動計画

- (1) タイ・ノンケーム RC プンクム RC、ロイエット RC と連携し 国際奉仕プログラムに参加する
→地区補助金申請済み 認可下り次第 プログラム 始動
- (2) 浄水器贈呈セレモニー 2023 年 2 月又は 3 月予定
タイ ノンケーム RC・ロイエット RC と 3RC にて 友好クラブ締結続ける
→ノンケーム RC より ステップアップの要請あり
- (3) カンボジア スナーダイ・クマエ孤児院 絵画 展参加
→9 月 甲南大学にて 絵画展開催予定
- (4) フィリピン NGO 法人プルメリアの事業に参加
→先方依頼分 里子 2 人、1 年分 7 月予算執行済
(北村副委員長の迅速なる指示のもと 新年度早々に事業完了。北村さん ありがとうございます)

ロータリー財団委員会

委員長 木畑 清

副委員長 國井 豊

委 員 三上・濱口



○活動方針

地区の方針を実行します。

財団の使命は、人々の健康状態の改善、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組みます。財団はロータリアンの

の「寄付」を資金として地元及び国際社会に貢献します。

○活動計画

財団年次基金 1 人当たり 180 ドル以上
ポリオ・プラス寄付 1 人当たり 30 ドル以上を徴収させていただきます。

米山奨学委員会

委員長 米澤邦明

副委員長 北側一雄

委 員 城岡



○活動方針

強制ではありませんが、米山特別寄付を 1 件でも増やす様にお願いいたします。

○活動計画

当クラブ米山奨学生 2 年目のグエン・ティ・ホアン・オアンさんとの交流も深めます。
また、米山特別寄付の為の袋を作成し、簡単に寄付をしていただける様にします。

会 計

委員長 池田茂雄



○活動方針・活動計画

- (1) 次の五部門ごとの会計処理と預金管理を事務局とともに行います。
①「一般会計の部」、年会費 33 万円を財源とした会計
②「ニコニコ会計の部」、ニコニコ箱収入を財源とした会計
③「堺北基金特別会計の部」、災害時等のお見舞いに充てるための準備金会計
④「記念行事特別会計の部」、周年行事の資金に充てるための準備金会計
⑤「囲碁フェスタ特別会計の部」、子ども囲碁フェスタ行事に関する特別会計
- (2) 前項のうち、「一般会計の部」と「ニコニコ会計の部」については、頻繁に動きがあるため毎月の会計報告を当クラブホームページの「会員専用ページ」にアップし、各委員会ごとの予算執行状況を確認していただけるように致します。
- (3)「堺北基金特別会計の部」・「記念行事特別会計の部」・「囲碁フェスタ特別会計の部」については、動きが少ないため入金及び出金の明細は省略しますが、月々の残高を表示し毎月末の預金残高を確認して頂けるように致します。このように当クラブは常に会計をオープンに致します。
- (4) 当クラブの預金並びに什器備品類等資産についての保存管理は「会計」にありと定められておりますので、事務局とともにその保存管理にあたります。

S A A

委員長 畑中一辰

副委員長 澤井久和



○活動方針

- (1) 会長・幹事のサポートと共に楽しい例会作りを目指します。
(2) 堺北の特色を出し、おもてなしの精神でメーキャップに来た人をメーキャップのリピーターにする事を目指します。

○活動計画

- (1) ニコニコ袋の読み上げは、書いた人の気持ちになって読みます。
(2) 会長・幹事と共に他のロータリーに顔を出しメーキャップに来てくれる人を探す。
時間を守り進行を進めたいと思います台本の見直しと修正

囲碁大会準備委員会

委員長 坂田兼則
副委員長 塩見・池永
委員 会員全員



○活動方針

令和2年度から続いておりますコロナ渦のため、いまだ第10回目が開催出来ずしておりますが、日本棋院との連携を取りながら開催できるよう努力していきます。

○活動計画

開催できる場合には会場の都合もありますが、できれば令和4年中に開催できるよう努めます。

写真同好会

代表世話人 米澤邦明



○活動方針

各種委員会などと連携し、出来る限り映像保存します。

○活動計画

ロータリー活動に関してのスマホやデジカメで撮影した写真を事務局のサーバーに集め、年間記録としていつでも有効利用できるようにする。

ゴルフ同好会

代表世話人 北村勝博

世話人 中田・塩見



○活動方針

ゴルフプレーを通じて会員・会員家族及びゲストの皆様との親睦を深めると共に、他クラブからの参加によるクラブ間の交流を行います。

新入会員候補者をお誘いして親交とロータリー活動について理解を深めて頂きます。

○活動計画

- (1) 北輪会を4回開催
- (2) 地区大会記念ゴルフ大会に参加
- (3) 互輪会に参加
- (4) ゴルフに関する案内

歩こう会

代表世話人 綿谷伸一

世話人 中川・笹山



○活動方針

歩く機会が少なくなった昨今、歩くことで精神面・肉体面の健康の推進・増進を図る。

同時に、自然とのふれあいを通じて、会員・家族・友人間の親睦を図る。

○活動計画

気候の良い時期に、日帰り「歩こう会」を開催する。

グルメの会

代表世話人 米澤邦明

世話人 木畑・綿谷・吉村・鶴



○活動方針

グルメを味わえる所に御案内します。

○活動計画

親睦委員会と合同で、旅行などでグルメを満喫できる所をチョイスします。また、大阪のグルメも厳選しご案内します。

囲碁同好会

代表世話人 池田茂雄

世話人 中川



○活動方針

(1) 囲碁のルールは非常に単純ですが、そこから派生する「石のかたち」には、とても奥の深いものがあり、そこが大きな魅力なのです。

「子ども囲碁フェスタ・堺」が当クラブ恒例の大きな行事の一つとして定着してきました中で、この次には、会員の皆さんが囲碁の魅力を少しでも感じ取っていただけるようになればと思っております。

○活動計画

(1) 同好会としては、現在、活動らしい活動はやっておりません。ただ、以前「子ども囲碁フェスタ」参加者の中からホームページ上に囲碁に役立つ記事をのせて欲しいとの声がありましたので、囲碁の棋力向上には欠かせない「囲碁格言集」を同好会からのニュースとしてアップしております。それと、ロータリーの友誌に2カ月に一回掲載されている「囲碁の問題とその回答」を引用して当クラブのHPにアップをと思い友誌に問い合わせましたところ、友誌に掲載するために日本棋院から頂いた原稿なので、それは止めて欲しいと言われました。

当クラブ山田規三生名誉会員の囲碁に関する書籍が沢山出版されておりますが、私はその書籍を手に入れて囲碁の勉強をしております。提案ですが、その書籍の中から「問題とその回答」をピックアップして当クラブのHPにアップしてはどうでしょうか。

この場合、HPには「山田規三生プロ著書から引用」と表示します。この場合にでも、山田名誉会員の了解がいてと思い、「子ども囲碁フェスタ・堺」の開かれるのを待っているところです。

(2) 実は、当クラブ名誉会員の「山田規三生プロ」、そして子ども囲碁フェスタのアシスタントでお馴染みの、「佃 亜希子プロ」、「水戸タ香里プロ」などが関係しておられる「友の会」がネット上にあるのです。

自宅にいながら、ネット上で日本国中の皆さんといつでも自由に囲碁の対局が出来ますし、指導を受けることも出来ます。

ネット上で、「将棋友の会」で検索すると詳細が出てきます。是非アクセスしてみてください。

伝統文化愛好会

代表世話人 木畑 清

世話人 奥野



○活動方針

コロナ後に向けて伝統文化（落語・能、歌舞伎、文楽、狂言）の情報を発信します。

○活動計画

おたび寄席への協力

会長の時間

会長 塩見 守



本日は 2640 地区ガバナー補佐の丸山孝明様をお招きして、第 1 回クラブアッセンブリーを開催いたします。時間の都合がございますので、会長の時間は短めとさせていただきますので、ご了承お願い致します。

先週の例会で初めての会長の時間を卓話させていただきましたが、緊張のあまり上手く話せませんでした。今日から回を重ねていくごとに少しは上達したいと思っています。各委員会の委員長様、本日のクラブアッセンブリー一宜しくお願い致します。丸山ガバナー補佐様には最後に総括、ご指導を頂戴いたしたいと思いますのでよろしくお願い致します。

委員会報告

国際奉仕委員会

「セブ島 NGO プルメリア

里親支援について現地報告」

国際奉仕副委員長 北村 勝博



7 月 4 日（月）フィリピンセブ島の現地 LA BOUNA（イタリアレストラン）にて NGO 法人プルメリア代表濱野氏と同法人の卒業生で

ある RHE SWI 氏にお会いしてきました。昨年 2021 年度に初めて同団体の里子支援（国際奉仕）として学生 3 名分 ひと月 @3,000 円/名の学費支援を実施しましたが、2021 年 12 月より代表である濱野氏が大病となり、自宅での療養を余儀なくされた状態で継続的に里子支援ができるのか？同氏とその側近である RHE SWA 氏にお会いして送金の具体的な運用確認とフィリピン人女性である RHE SWA 氏の人柄を確認してきました。

RHE SWA 氏は 10 年以上プルメリアの里子として学費を受けて無事大学を卒業。卒業後、弁護士資格を得て、弁護士事務所に勤務。その後セブ島マニラ市に同氏と職員 1 人の 2 名で弁護士事務所を開設。10～20 企業・個人の弁護士、法律サービスを実施。スタートアップとしてはまずまずの経営をしていると予測できます。学生時代の横のつながりにて顧客を少しずつ開拓しているとのこと。専門は企業法務。特に SEC（フィリピン証券取引委員会）にコネクションがある。彼女はプルメリア卒業生として、初めて弁護士となった成功事例の一人であり、NGO プルメリアを恩義に感じているようです。日本から送金された支援金は、濱野氏に代わって同氏が里子に対してスタッフと一緒に送金処理をしています。具体的には円から現地通貨であるペソへの両替及び GCASH やパラワンエクスプレス等の民間送金サービスを使って、各里子に送金しています。送金エビデンスは全て同事務所で管理し、最終的に代表である濱野氏へ報告していました。

一人あたり 3,000 円/月の予算の中に上記送金手数料を含めて運用しています。

2022 年度は里子 2 名の支援をロータリークラブへ御依頼したいとの要望を受け国際奉仕活動の予算を計上頂き送金手続きを実施しました。

小生から濱野氏に対し学費以外のモノによる支援は必要ないか？との質問に対し、濱野氏の考えは、フィリピンでの教育という無形のサービスは目で見えにくいですが、“教育”こそがこの国にとって一番必要と思っているので、里子への教育のサービスを継続していきたいとのコメントでした。同氏はまだ 56 歳でお若いですが、あと 5 年くらいは自分の力でこのプルメリア（里子サービス）を続けていきたいとのことでした。



卒業生と濱野氏

SAA 報告

(会員は 50 音順)

- ガバナー補佐 新人のガバナー補佐です。
丸山 孝明 様 よろしくお願ひいたします。
池田茂雄会員 丸山ガバナー補佐さま、ようこそお越しくださいました。ありがとうございます。
國井 豊会員 米澤会員、先日はありがとうございました。うれしかったです。
澤井久和会員 丸山ガバナー補佐、本日はお手柔らかにお願い致します。
塩見 守会員 丸山ガバナー補佐、本日はご指導よろしくお願ひします。
鶴 啓之会員 丸山ガバナー補佐様、本日はよろしくご指導いただけます様に。
中田 学会員 丸山ガバナー補佐ようこそ堺北へ。御指導宜しくお願ひ致します。
永富久紀会員 丸山ガバナー補佐様、本日はよろしくお願ひします。
那須宗弘会員 ガバナー補佐丸山様、ようこそお越し下さいました。今日は宜しくお願ひします。
畑中一辰会員 丸山様、暑い中ありがとうございます。
平野祥之会員 丸山ガバナー補佐、本日はようこそ堺北ロータリークラブへお越し下さいました。ありがとうございます。

合計 26,000 円

◆米山特別寄付へ 9 件

奥野圭作会員、國井 豊会員、澤井会員、
塩見守会員、永富久紀会員、那須宗弘会員、
畑中一辰会員、吉村博勝会員、米澤邦明会員

その他

「医療業界でバリアフリーの必要性を伝える」

自身の障がいを受容し、

チャレンジし続けるロータリー元奨学生

寄稿者：野口万里子さん

(2002～03 年度ロータリー財団奨学生)

不安を抱えながらドイツに留学

「障がい者もおしゃれし、みんなと同じステージで輝く場所があつていい」と思い、ミセスコンテストにチャレンジした野口さん。

私は、ロータリー財団の国際親善奨学生として、ドイ

ツ・フランクフルトへ異文化体験留学をさせていただきました。大学卒業直後で 22 歳の時でした。

私自身オランダ生まれで 2 歳で帰国し、幼少時より外国は身近であり、海外で勉強するという夢を抱いていました。多くの国を見て、一人で外国へ行けるようになることを望んでいました。

2002 年 8 月、大阪よりフランクフルト空港に到着。最初はとても大きな不安を抱いていました。本当にフランクフルトで生活できるのだろうか。なぜならば、私は生まれつきの聴覚障がいだからです。胎内時に母が風疹を発病したため、難聴児として出生しました。加えて、重度聴覚障がいにより独特の発音です。

生まれつき聴こえない学生がロータリー財団の奨学生になるのは、日本からの留学生として恐らく初めてではないでしょうか。多くのロータリー会員の方々の不安があったと聞いています。その中で、大阪や堺のロータリー会員が私を推薦してくださったおかげで、私はドイツの地を踏むことができました。

聴こえないので、ドイツ語会話は容易ではありません。しかし、私は耳が聴こえなくとも目が見えます。読み、書きができます。ですから、いつも日記を書き、それをホストの父であるアンドレア・ゲーツさんに添削してもらいました。ホスト兄弟姉妹は、私の兄弟姉妹であるだけでなく先生でもありました。彼らは、私と話すことが困難であっても、決して私とコミュニケーションを図ることを諦めませんでした。

半年間の学びを終えて、帰国前にフランクフルトのロータリー第 1820 地区でスピーチをしました。そこで、特にお世話になったフランクフルトと大阪のロータリークラブと、私のホストファミリーのゲーツ一家に心からの感謝を伝えました。

「私はドイツが好きです。本当にありがとうございました」。私はドイツ語でスピーチしていましたが、発音が明瞭でないのでホストのお父さんがリスピークという形で、私が話した後、私と同じセリフを全員へ伝えていました。しかし、途中でアンドレアパパはリスピークをやめて、私だけのスピーチになりました。会場が静まり返り、私のスピーチが終わると、40 人ほどの聴衆が次々と立ち上がり、ついに全員総立ちでの拍手となり、私はあふれる涙をぬぐうことができませんでした。

製薬企業でバリアフリー活動を推進

帰国後の 2003 年、私は大阪の薬の町、道修町に本社を置く創業 144 年 (2021 年現在) のシオノギ製薬に入社しました。祖父が内科医師であり医療業界に関心があったためです。国際事業部、ライセンス部、事業開発部、海外事業本部、経営企画部を経て、現在 CSR 推進部で社会貢献活動をしています。社内結婚し、二人の娘に恵まれました。



た。

私はドイツ留学した時も、会社で業務をする時も、常に一貫して「聴こえる人、聴こえない人が共に社会生活をする」共存社会を望み、そのように活動してきました。

私の胸にはいつも私がお世話になっている牧師の言葉があります。「あなたは生きていますか？それともただ息をしているだけですか？」。人間は生まれながらの使命があり、聴こえない私が社会に貢献できることがあります。

そのように信じ、2016年、社内で有志という形で聴覚障がい啓発を中心としたプロジェクトを立ち上げました。プロジェクト発足時、「製薬企業がなぜバリアフリー？」と疑問視する声が社内で少なくありませんでした。それでも私はバリアフリーほど普遍性が高いものはないと確信していました。薬をお届けする患者さんにも聴こえない人が大勢います。WHOでも難聴の警鐘を鳴らしていることもあり、正しく適切に服薬いただくためのバリアフリー観点は必要です。

大阪にあるキリスト教系病院で聴覚障がいの特性を説明するセミナーを皮切りに、プロジェクト活動は拡大していきました。社内活動として、障がい従業員への合理的配慮対応、そして、医療従事者向け活動としてMR (Medical Representatives、医薬情報担当者)を通して、聴覚障がいであることを示す自己表示カードを配布しています。さらにOTC (Over The Counter、一般用) 医薬品で目が見えにくい人にも開けやすい包装箱を目指し、2021年グッドデザイン賞を受賞しました。社長による手話スピーチも行われました。数名の有志会から始まった活動から今や各本部・各組織で活動する全社プロジェクトになり、施策が具現化されてどんどん夢が膨らみます。これも理解ある経営陣、共に活動するメンバー、家族、周りの協力があってこそです。

障がい者も同じステージでチャレンジ

一方で、社会貢献活動のバリアフリー活動をしているとしても福祉の世界を連想しがちです。バリアフリー用品は今でこそおしゃれなものが出ていますが、以前は肌色の補聴器が主流でした。障がい者もおしゃれし、みんなと同じステージで輝く場所があっていいと思い、2020年ミセスコンテストの「Mrs. Ms. Earth Japan 2020」にチャレンジしました。エリア大会から日本大会へ進み、トップ10へ進み、さらにダイヤモンド賞を受賞しました。かつて全米でろう女性がミスアメリカに初めて選ばれたのと同様に、私自身も日本で初のグランプリを目指しました。グランプリにはなれませんが、タイトルを獲得できたのは私にとって誇りです。

振り返ると、私の人生はチャレンジの連続であり、茨の道でした。最初不安だったドイツへの出発は、大学時代、廊下でロータリー財団の留学生募集ポスターを見たのがきっかけです。チャレンジ精神の機会をくださったロータリークラブに心から感謝いたします。ただ息をするのではなく、聴こえない私に与えられた賜物を活かし、今後も社会貢献活動をしてまいります。プロジェクト活動を通して得たリーダーシップ体験を活かして、海外大学院のオンライン学生になるべく受験勉強中です。日本では特例子会社ではなく一般企業で障がい者がリーダーを務めるケースは少ないです。海外企業の障がい者リーダーシップ事例を学ぶチャレンジが続きます。未来に続くことができるよう、若い聴覚障がい者が進む道を切り開いていきたいと思うのです。

改めてロータリークラブに心から御礼を申し上げます。ありがとうございました。

「ロータリーボイス」<https://rotaryblogja.org/>より

例会風景



ガバナー補佐 丸山孝明様にご来会いただきました



委嘱状伝達式

地区米山寄付増進小委員 米澤邦明会員



米山功労者表彰

米澤邦明会員…第7回マルチプル



皆出席表彰 7月度 代表 永富久紀会員



2020年度米山奨学生の陳 敏彪さんがしばらく香港に帰っておられ、お土産を持って例会に遊びに来てくださいました！



陳さん
美味しいお菓子を
ありがとうございます！